

試験報告書

依頼者 日本トラスト化学株式会社

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 TR+ ティーアールプラス (トラストウォーター)

表 題 アレルゲン不活化試験

2020 年 06 月 16 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

アレルギー不活化試験

1 依頼者

日本トラスト化学株式会社

2 検体

TR+ ティーアールプラス (トラストウォーター)

3 試験概要

検体にアレルギー溶液を添加，混合し(以下「試験液」という。)，所定時間後に試験液中のアレルギー濃度をELISA法により測定した。また，あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い，検体の影響を受けずにアレルギー濃度を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1に，試験条件を表-2に示した。

なお，試験液をELISAキット付属の緩衝液で希釈する中和条件により，検体の影響を受けずにアレルギー濃度の測定ができることを確認した。

表-1 試験液のアレルギー濃度測定結果

試験 アレルギー	対象	アレルギー濃度 (ng/mL)		
		開始時	1分後	5分後
スギ	検体	—	<1.6	<1.6
アレルギー	対照(精製水)	250	—	240

<1.6 : 検出せず

保存温度 : 室温

表-2 試験条件

試験アレルゲン	スギアレルゲン：精製スギ花粉抗原Cryj1[株式会社 林原]
アレルゲン溶液	調製溶液：0.05 %ポリソルベート20(Tween20)加りん酸緩衝生理食塩水 濃度：25 μ g/mL(理論値)
試験液	検体1 mLにアレルゲン溶液10 μ Lを添加
保存条件	1分, 5分(室温)
中和条件	ELISAキット付属の緩衝液で2倍希釈
対照	精製水
ELISA 測定	レビス Cryj1 ELISA Kit[富士フイルムワコーシバヤギ株式会社]

以 上